

スピオルト®レスピマツト®を吸入される患者様へ

毎日の吸入方法

〈吸入は1日1回 **2吸入** 行います。〉

Step 1 回す



キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。

キャップを閉じもう一度 Step 1 ~ Step 3 を繰り返します。
吸入は1日1回 **2吸入** 行います。

Step 2 開ける



キャップを完全に開け、息をゆっくり最後まで吐き出します。

Step 3 ゆっくり吸う



マウスピース(吸入口)をしっかり口にくわえ、息を口からゆっくりと吸いながら、噴霧ボタンを押し、できるだけゆっくり肺いっぱい息を吸い込みます。苦しくならない程度、息を止めます。

① 注意点

- 目盛りは透明ケースを180度回転させるごとに1噴霧分進むため、1回の噴霧時に180度を超えて回転させないようお願いいたします。
- スピオルト®レスピマツト®の吸入時に薬が目に入らないように注意してください。
- マウスピース(吸入口)を口にくわえた際、通気孔をふさがないようにしてください。
- 次に吸入用器具レスピマツト®を使用するまで、キャップは閉じて保管してください。

各部の名称



こんなときは…

状況	ご確認点と対応策
標準使用回数(60吸入の場合: 30日・計60噴霧、28吸入の場合: 14日・計28噴霧)未滿で目盛りが0になった	①透明ケースを1回の噴霧時に180度を超えて回転させた場合、目盛りが複数噴霧分進みます。噴霧ボタンを押さなくても目盛りは進んでしまいますので、透明ケースを1回の噴霧時に180度を超えて回転させないようお願い致します。 ②テスト噴霧を毎回実施していらっしゃらないでしょうか。テスト噴霧はご使用ごとに実施頂く必要はありません。新しい吸入用器具レスピマツト®ご使用開始時のみテスト噴霧を実施ください。 ③使用済みの吸入用器具レスピマツト®に新しいカートリッジを挿入していらっしゃらないでしょうか。使用済みの吸入用器具レスピマツト®に、新しいカートリッジを挿入しても、目盛りはリセットされず、すでに目盛りが進んでおりますので、吸入投与回数分ご使用になれません。吸入用器具レスピマツト®とカートリッジはペアでお使いください。また、複数のレスピマツト®を処方された場合、使用済みの吸入用器具レスピマツト®と取り違えられた可能性も考えられます。使用開始日を記載するためのシールをご用意しております。
メモリの不具合 最初から目盛りが0だった	使用済みの吸入用器具レスピマツト®に新しいカートリッジを挿入していらっしゃいませんか。使用済みの吸入用器具レスピマツト®に新しいカートリッジを挿入しても、目盛りはリセットされません。吸入用器具レスピマツト®とカートリッジは必ずペアでお使いください。
目盛りが一気に進んだ	使用済みのレスピマツト®とお取り違いがいらっしゃらないでしょうか。目盛りはネジ状部品のネジ山に噛み合わさって固定されており、透明ケースを180度回転させる毎に目盛りがネジ山を1つずつ0の方向へ進む設計となっております。目盛りが一気に進むことはございません。
噴霧ボタンを押す前に勝手に薬液が噴霧された	①キャップを開けたまま透明ケースを回転させていらっしゃらないでしょうか。透明ケースを回転させる際、微量の薬液が噴霧されることがございます。これは製品の異常ではございませんので、必ずキャップを閉じた状態で透明ケースを回転させてください。 ②噴霧ボタンを押したまま透明ケースを回転させていらっしゃらないでしょうか。噴霧ボタンを押した状態で透明ケースを回転させた場合にも薬剤が噴霧されます。噴霧ボタンに触れないようキャップを閉めてから、透明ケースを回転させていただきますようお願いいたします。 ③透明ケースを180度以上回転させていないでしょうか。透明ケースを180度以上回転させた場合、噴霧ボタンを押さなくても噴霧が開始されてしまいます。透明ケースをゆっくり回転させていただくと、180度回転させた時にカチッと音がなっていることが感じやすくなります。

スピオルト®レスピマツト®の使用にあたって

1. 用法・用量

1日1回2吸入

2. 注意

- (1) 本剤は吸入薬です。必ず吸入用器具レスピマツト®を用いて吸入してください。
- (2) 本剤は、発作を速やかに抑える薬ではありません。
- (3) 本剤の吸入時に薬が目に入らないように注意してください。もし目に入って目の異常に気付いたときはできるだけ早く、医療機関を受診してください。

3. 保管上の注意

- (1) 本剤は冷凍しないください。
- (2) 吸入用器具は、少なくとも週1回は手入れをしてください。
- (3) 本剤は幼・小児の手の届かないところに保管してください。

- (4) カートリッジを挿入して3ヵ月以上経過した場合は、薬剤が残っていたとしても使用しないでください。吸入用器具レスピマツト®を7日間以上使用しなかった場合は、下に向けて1回噴霧した後に使用してください。また、21日間以上使用しなかった場合は、ミスト(霧)が見えるまで5~7の吸入前に必要な準備を行った後、さらにミスト(霧)が見えてから5~7の操作を3回繰り返した後に使用してください。
- (5) 本剤は金属・プラスチックでできていますので、地方自治体により定められた方法に従って廃棄処理してください。また、本剤を分解したり、カートリッジの底面に穴をあけないでください。

吸入用器具レスピマツト®の手入れ



少なくとも週1回はマウスピースとその内側の金属部分を湿らせた布またはティッシュペーパーで拭いてください。金属部分は変色することがありますが、吸入用器具レスピマツト®の性能には影響はありません。

吸入前に必要な準備

初めて吸入用器具レスピマツト®を使用するときは、次の操作を行ってください。

1 キャップを閉じた状態で、安全止めを押しながら、透明ケースをはずします。

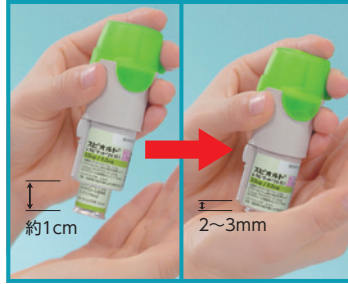


写真は28吸入製剤のもので、60吸入も使用方法は同様です。

2 カートリッジを吸入用器具レスピマツト®にまっすぐ挿入します。



3 カートリッジを奥まで挿入します。



上の方法で奥まで挿入できない場合は、かたい平面の上で挿入してください。



カートリッジは、2~3mm程度見えている状態で正常に挿入されています。

4 透明ケースを装着します。



5 キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。



6 キャップを完全に開けます。



7 下に向け噴霧ボタンを押し、吸入準備をします。



薬が目に入らないように注意してください。

8 ミスト(霧)が見えるのを確認したらキャップを閉じ5~7の操作をさらに3回繰り返し、噴霧が確実に行われることを確認します。

これでスピオルト®レスピマツト®は吸入可能になります。

テスト噴霧は、吸入可能な回数には含まれません。準備完了後、60吸入では30日(計60噴霧)、28吸入では14日(計28噴霧)が可能です。

① 注意点

- カートリッジが奥まで挿入できなくなりますので、**カートリッジを挿入する前に透明ケースを回転させないよう**お願いいたします。
- 透明ケースをカートリッジ挿入前に180度回転させてしまった場合は、噴霧ボタンを押して、元に戻した後にカートリッジを挿入ください。
- 一度挿入したカートリッジは抜かないでください。
- 手で奥まで挿入することが難しい場合は、固い平面の上で挿入していただと、奥まで挿入することができませんが、あまり強く挿入すると吸入用器具レスピマツト®が壊れてしまい、ご使用いただけなくなります。
- **薬が目に入らないように注意してください。**

こんなときは…

状況	ご確認点と対応策
カートリッジが挿入しにくい	①透明ケースがすでに180度回転しているとカートリッジを奥まで挿入できませんので、一度噴霧ボタンを押してください。透明ケースが回転前の状態に戻り、通常通りカートリッジを挿入できるようになります。 ②カートリッジがまっすぐでない場合、奥まで挿入できない可能性がございます。一度カートリッジを抜いていただき、再度まっすぐ挿入ください。 ③カートリッジを逆向きに挿入されていませんか。カートリッジはくぼみのある方を挿入してください。
テスト噴霧時に薬液が噴霧されない	①テスト噴霧の操作を十分繰り返されていますでしょうか。テスト噴霧の初期1~2回はミスト(霧)が少なく噴霧されることがございます。ミストが見えるのを確認し、さらに3回繰り返して噴霧状態を安定させて頂きますよう、お願い致します。 ②ミスト(霧)が見やすい場所でテスト噴霧されているでしょうか。カートリッジ内の薬液は無色透明のため、背景の明るい場所でテストを行いますと、ミストが噴霧されているか分かりづらい場合がございます。 ③カートリッジを回転させる際、上向きにしているでしょうか。下に向けて行うとうまく吸い上げられないケースがございます。カートリッジを回転させる際には必ず上向きに行ってください。

▶ COPDについては
こちら

COPD-jp.com



提供: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社